

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	3 1	受 理 年 月 日	令 和 6 年 2 月 29 日
件 名	学校調理方式による全員制中学校給食の実施		
要 旨	<p>京都市教育委員会は、2万6,000食を1か所の給食センターで調理し、全市の市立中学校へ配送する案を提案している。全員制の中学校給食が実施に向け検討段階に入ったことは大きな前進であるが、実施方法については、慎重な検討が必要である。</p> <p>学校給食は、中学生の心と体の成長にとってその大切さが増してきている。京都市の小学校では、多くの給食関係者や京都市教育委員会の努力によって、安全な食材による和食を多く採り入れた自校方式の給食が行われ、子供や保護者に大変喜ばれている。その結果、多くの子供と保護者は、小学校のような全員制の給食を求めている。</p> <p>巨大センターによる給食には、多くの懸念がある。小学校のような出来立て・手作りのおいしい給食ができるのか、交通渋滞が多い京都市内で2時間以内に届けられるのか、食中毒や水害などで全市の給食が一斉にストップしないか、たった3人の栄養教諭の配置で充実した食育はできるのか、巨大工場の建設は経費も時間もより掛かるのではないかなどである。</p> <p>中学校給食の実施方法については、先の京都市長選挙でも、京都市会でも様々な意見が出されている。私たちは、昨年行われた京都市教育委員会の検討会議でも自校・親子など学校調理方式の可能性について十分な調査、議論が尽くされたとは思えない。</p> <p>私たちは、生徒たちの顔を毎日見ている給食調理員や栄養教諭などがメニューを考え、心を込めて作る安全な学校給食に勝るものはないと考えている。京都市会として、慎重に検討し、中学生にとって、より良い中学校給食が提供されることを求める。</p> <p>については、学校調理方式による小学校のような全員制の中学校給食を全ての京都市立中学校で実施することを願う。</p> <p>なお、本請願について署名1,000筆を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	山本 陽子、えもとかよこ、やまね智史		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		